



## 参加型の公園管理を目指して

### 万座自然保護官事務所 浪花 伸和

上信越高原国立公園万座自然保護官事務所が管轄する区域には、浅間山、白根山などの火山があり、高山植物が生育し、万座・四万などの温泉や菅平・谷川などのスキー場が多く点在するため、シーズンを問わずに誰でも気軽に利用できる国立公園です。しかし、これほど広大で多様な地域をレンジャーが1人で管理することは大変難しいため、地元行政や観光業者・NPO・ボランティアなどの関係者と連携・協力して、「参加型の公園管理」を行っていくことが必要です。

「参加型の公園管理」を行うためには、関係者の方々に国立公園の制度について理解を深めてもらい、それぞれが行っている事業活動(例えば宿舎の営業、観光協会の清掃活動等)が実は公園管理活動であり、ひいては地域振興に繋がることを理解していただくことが必要です。レンジャーはそのような活動を行い、多様な主体の協力を募りながら、地域のコーディネーターとなることも重要な仕事です。



今年オープンした高峰ビジターセンター

今年の3月、NPO法人浅間山麓国際自然学校(以下「自然学校」とします)がNPOとして初めて、「公園管理団体」に指定されました。



自然公園法説明会の様子

「公園管理団体」とは、民間による公園管理を推進するため、環境大臣によって指定された、公園管理上一定の能力を有する民間団体のことです。指定された団体は国立公園の風景地の保護、情報の発信、利用指導、調査研究を行うこととなっています。

自然学校が活躍する浅間地域は群馬・長野県境にまたがり、統一的な管理を行うことが難しい地域でしたが、現在は看板の統一や、高山域に生息する蝶の保全活動・調査など、官民一体となった公園管理が行われています。

今後は、浅間地域を一つのモデルケースとしながら、他の地域においても国立公園の管理についてご理解をいただき、多くの方に公園管理に協力していただける体制づくりに取り組んでいきたいと思っています。

## Focus

### 3R推進月間行事

中部地方環境事務所は、10月の「リデュース、リユース、リサイクル推進月間」(略称「3R推進月間」)に合わせ、長野県と共催で、9月27日(土)に長野市の長野オリンピックスタジアムでのプロ野球独立リーグ・BCリーグ戦(信濃グランセローズ対群馬ダイヤモンドペガサス戦)において「3R推進長野大会」を開催しました。

当日は、当事務所の市原所長から長野県民球団代表にマイカップ2000個を贈り、3Rの普及へのご協力をお願いしました。先着500名の来場者にはこのマイカップを配布し、試合にはマイカップを持って来るよう呼びかけたほか、選手サイン入り風呂敷の配布や場内アナウンスなどにより3RのPRを行いました。

また、10月21日(火)には、三重県と共催で、津市のホテルグリーンパーク津において、「3Rについて語ろうin三重」を開催し、環境省3R推進マスターの平野次郎氏による講演や三重県内の団体、企業等による3Rの取り組み事例の紹介を行いました。



マイカップ

開催  
しました!

### 藤前干潟 ふれあいデー2008

11月15日(土)・16日(日)に環境省稲永ビジターセンター、藤前活動センターにおいて「藤前干潟ふれあいデー2008」が開催されました。



「藤前干潟ふれあいデー」は、藤前干潟がラムサール条約湿地となったことを契機に、人々により親しみを持ってもらえるように、同条約湿地に登録された11月18日前後の土日毎に毎年開催され、今回で4回目を迎えました。

会場では環境の話を交えたライブショー、藤前干潟周辺にあるヨシ原での観察会のほか、生物多様性に関する展示など、楽しく来場者の興味を引くようなイベントが多数実施されました。あいにくの雨模様でしたが、今回も子供からご年配の方まで、多くの方々にご来場いただき、大変盛況な2日間となりました。